

5 プレキャスト独立剛性防護柵



プレキャスト独立剛性防護柵とは高架道路の断面両端に設置する、自動車の路外逸脱防止等を図る構造物です。これまで現場打ちコンクリートで施工されてきましたが、プレキャスト技術によって安定した品質の製品提供が可能になりました。

特長

1. 施工性

大型化されたプレキャストブロックを設置するだけの施工方法のため、型枠設置、鉄筋組立及びコンクリート打設等の工程を省くことができ、大幅に工期の短縮が図れます。

2. 品質

工場製品のため、均一な品質を確保することができると共に、事前に仕上がりを確認できます。また、ハレーサルトコンクリートで製品化することで高強度・耐塩害性に優れた製品となります。

3. 安全性

従来場所打ち施工では、煩雑な型枠設置や鉄筋組立を行うために危険な箇所での作業が伴っていましたが、プレキャスト化による大型クレーンでの設置によって安全に施工することができます。

4. 環境

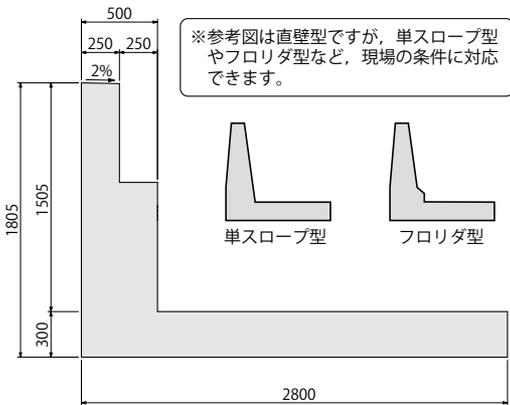
ハレーサルト製の防護柵は、高炉スラグ材を主原料としたコンクリート製品ですので、CO₂の排出量を約35%削減することができます。

5. 景観

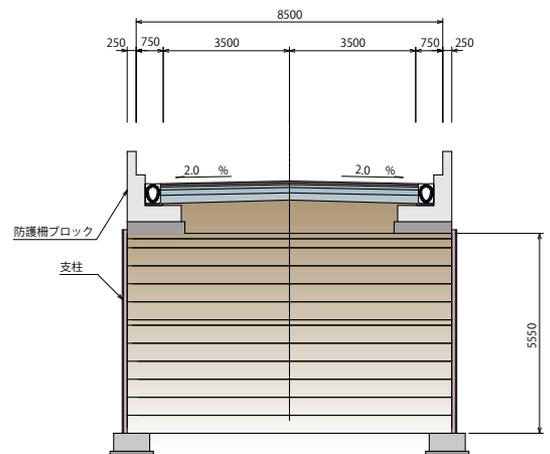
プレキャスト化することで、複雑なデザインも容易に対応することができます。

防護柵ブロック参考図

●種別（衝突条件）はSC・SB・SA・SSの全種類に対応できます。



防護柵参考断面図



車両用剛性防護柵 実績 【鳥取県】



車両用剛性防護柵 兼 遮音壁基礎
実績 【広島県】



車両用剛性防護柵 実績 【広島県】

